

【持続可能で効率的なメンテナンス】

予防保全に基づく長寿命化

将来を見据えたインフラの長寿命化を推進

長寿命化計画に基づき、予防保全型の維持管理・更新を推進することで、中長期的な維持管理・更新に係るトータルコストを縮減することが可能となります。また、維持管理・更新に係る費用を計画的に投資することで、年当たりのコストの平準化を図ります。



Plan(長寿命化計画)

- ・優先順位の決定
- ・統廃合の検討



Do(予防保全)

- ・補修・補強の実施
- ・定期点検の実施

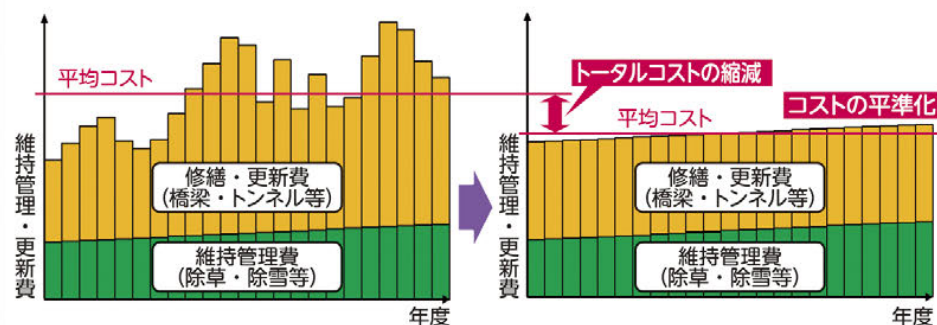
Action(改善)

- ・長寿命化計画の策定
- ・長寿命化計画の見直し

Check(照査)

- ・対策区分判定
- ・新技術等の検証

トータルコストの縮減と平準化のイメージ



効率的な維持管理

官民連携で、安全で快適な生活基盤を維持

日常点検や除草、除雪等の維持管理において、前例にとられない手法や民間活力を積極的に取り入れ、効率的な維持管理を行います。



ドローンを活用した橋梁点検



自治会による道路除草

新たな除草方法を試行しています!!

インフラの維持管理において、最も身近で厄介なものの一つが「雑草」です。道路では、通行空間を妨げたり、交差点の視界を遮るなど、安全で快適な通行環境に支障をきたしています。

これまで群馬県では、主に草刈り機を用いた除草を行っていましたが、今後は除草剤を活用した道路除草の有効性について検討します。試行を実施した後、除草効果や周辺環境への影響などを効果検証を行い、実用化に向けた検討を進めていきます。

除草剤の活用イメージ

- Point**
- ▶ 周辺住民の合意が得られた地域で使用。
 - ▶ 特に歩道部では、地域の意見を聞きながら慎重に導入。



新技術を活用したインフラメンテナンス

○ 持続可能なインフラメンテナンス体制の構築に向けて、新技術の活用や新たな産業の創出を支援

ICT、AIなどのデジタル技術を活用した点検、モニタリングやメンテナンスを推進するとともに、持続的なメンテナンス体制を構築するため、新技術導入促進の場を設けるなど、インフラメンテナンス産業の創出を支援します。

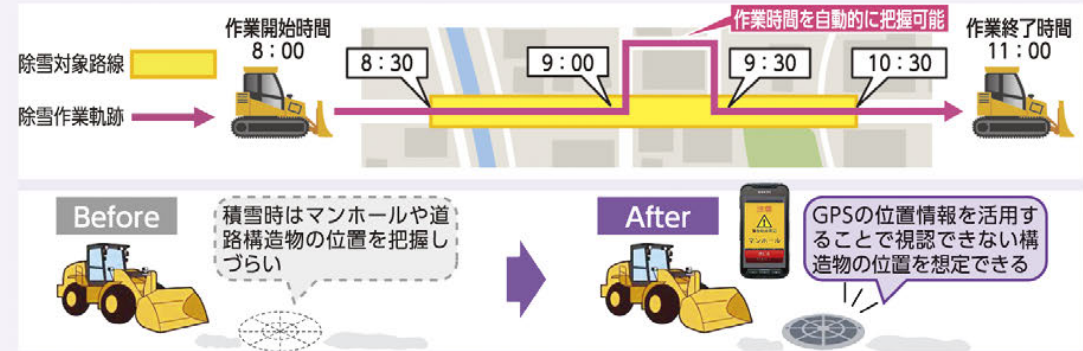
車両から電磁波を使った橋梁点検

電磁波を使って、路面などから直接確認できなかった床版の劣化状況が点検できるようになり、走行しながら点検するため通行規制も不要となります。



GPSを活用した除雪作業の効率化

除雪車にGPS端末を搭載することで、除雪作業に関する事務処理や視認できない構造物を検知することで、オペレータによる作業の負担軽減を図ります。



官民連携による 新技術の活用・開発支援

将来にわたって、社会資本の機能を維持できるよう、県内の持続可能な維持管理体制の構築を目指し、「インフラメンテナンスの産業化」として、メンテナンスサイクルのあらゆる段階における新技術の活用・開発に官民連携により取り組むなど、魅力的で持続可能なインフラメンテナンス産業の創出を支援します。

■ インフラメンテナンスの産業化 概念図

